

バイオバンクの利活用 ～あらためて手続きを問い直す～

第8回 バイオバンク オープンフォーラム



アステラス製薬株式会社
非臨床バイオメディカルサイエンス
石川 毅

国内バイオバンク・海外バイオバンク(主に海外商用バンク)の利活用について

提供元	国内バイオバンク	海外商用バンク
契約形態	分譲・共同研究	売買契約
権利関係 (サンプル・試験結果・知財の帰属)	ケースバイケース (権利100%自社になる場合もある)	権利100%自社
試料検索方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 横断検索システム ● 各バイオバンク窓口 	国内外の代理店
秘密保持	個別対応(包括契約もあり)	不要・もしくは代理店で一括契約
倫理審査	提供元・提供先の二機関で審査 (除く共同研究下の一括審査)	提供先のみで審査 (除く前向き採材)
入手までの期間	4-6か月	2か月程度
検索時に閲覧可能な臨床情報	横断検索システムでは疾患名、既往症、年齢、性別のみ	服薬情報、病期、がん遺伝子変異情報 など
試料入手窓口	各バイオバンク窓口	国内外代理店
試料の品質担保	SOPで担保	<ul style="list-style-type: none"> ● 各試料に品質担保データをつけるベンダーも多い <ul style="list-style-type: none"> ■ HE染色像 ■ RIN値(RNA品質の客観評価指標) ■ がん部 / 非がん部の割合 ■ PBMCなどの細胞サブセット・生存率データ
取得費用	割安な場合が多い	割高な場合が多い(特に国内代理店を介した取得)
新鮮試料	対応可能	困難(海外の自社研究所・CROを活用)

海外商用バンクでは入手困難な、付加価値の高いサンプルのご提供を希望しております。

- 希少疾患のサンプル
- 侵襲を伴う検査のサンプル
- 継時的なサンプル
- 新鮮なサンプル